



岳南朝日新聞社  
〒418-0033  
富士宮市野中東町46-1  
代表 (0544) 28-0200  
FAX (0544) 28-0218  
編集 (0544) 28-0234  
営業 (0544) 28-0220  
月822円 1部50円

# 大学生らがSDGs 先進事例に理解深め

## 早大などが国際合同プログラム 富士市と地元企業も協力



活発な質疑応答を繰り広げる大学生ら

早稲田大学、国立清日(台湾)の3日間に行われた。華大(台湾)の共催。富士市内で開かれた。国際合同プログラム。両大学の学生24人、教員4人が来富して同市SDG共創プログラムと位置付けられている。ラットフォームと、この創出された同市内の先進的な取り組みなどについて理解を深め、関係者との交流・意見交換などを繰り広げるとともに、学生による提案も行った。



SDGsの取り組みについて説明する担当者

同スタジオリープは社会的実践などを創造的に探求し、新たなモデルなどを作成する活動。両大学は2025年度から、2つの学位を同時に取得できる「ダブルデグリープログラム」を開始する予定で、今回の国際合同スタジオリープはそれを記念する事業



大学生が「tetote」の活動を見学

同日午後にはエスパルSDGs食品ロス削減プロジェクト「まちぐるMe」、一般社団法人まちの遊民社は「公教育と連動したキャリア教育パイロットプログラムの実践」をテーマに各事例を紹介した。学生も積極的に質問するなど、出席者たちが活発なやり取りを繰り広げた。

23日にはSDGsに関する活動の見学として、学生らが「エスパル・コードモノプラスフェス2024 tetote」の会場となったエスパルストリームフィールド富士を訪問。親子などを対象とするさまざまな取り組みの様子を見つめるとともに、関係者との対話するなどして親睦を深めた。

「SDGsプラットフォームの展開」に関する提案が寄せられた。

介・意見交換会が開かれた。地元企業・団体などが幅広く支援・協力した。席上、同市企画課SDGs推進室職員が同市SDGs共創・共創プラットフォームの概要、「SDGs未来都市」実現に向けたプロジェクト創出の仕組み、参加・協働の輪の拡大などについて説明。富士信用金庫は「高齢者向け公共交通回数券事業の段階的デジタル化」、富士コミュニケーションエフエム放送株式会社は「まちづくり応援スイツ&ブレットSDGs食品ロス削減プロジェクト」をぐるMe」、一般社団法人まちの遊民社は「公教育と連動したキャリア教育パイロットプログラムの実践」をテーマに各事例を紹介した。学生も積極的に質問するなど、出席者たちが活発なやり取りを繰り広げた。